

# NASUSHIOBARA Newsletter

広報なすしおばら

7 / 5

July 2016 No.277

特集 絆 -Bond-

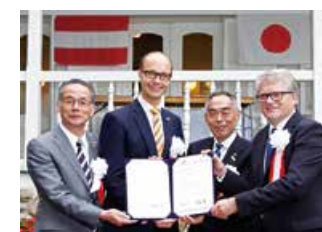




# 10年のときを経て

# 今、橋かかる

調印に向けて互いの国家を斉唱する両市長。演奏は西那須野中学校の吹奏楽部が担った



調印式には関係者を含め約80人が参列。両市長が協定書にサインすると、会場からは拍手が起こった

## 那須塩原×リンツ 姉妹都市提携調印式

旧青木家那須別邸(通称:青木邸)で6月13日、本市とオーストリア中央部に位置するリンツ市との姉妹都市提携調印式が行われた。きっかけは、11年前に始まった中学生の海外交流事業。多くの子ども思いや夢を原動力に、年々深めてきた都市交流の輪。約10年のときを経て、両都市に姉妹都市調印の橋がかかった。

### 相手を理解し協力し合うことが、互いの幸せにつながるのです——



リンツ・ルーガー市長

**オ**ーストリアと日本による姉妹都市提携は比較的珍しいことです。国内では、第2次世界大戦以降、欧州諸国と関係を築くことに力を注ぎ、その結果として平和を維持してきました。しかし、グローバル化と言われる現代、これからは視野を広げる時。今回の姉妹都市提携の歴史は、「青木家」という個人的な関係から始まっており、珍しくユニークなもの。周蔵公もこの交流をお喜びのことでしょう。2年前、私の2人の息子もこの交流に参加し、那須塩原で素晴らしい思い出をたくさん作って帰ってきました。こうして続く交流も、経済・産業という新たなステップに進んでいます。那須塩原

### これまでの交流が実った結果。他分野にも広げていきたい——



那須塩原・君島市長

**か**ねてから交流を深めてきたリンツ市との姉妹都市提携調印式を、ここ青木邸で実現できるのはこの上なく喜ばしいことです。ここ青木邸は、リンツと那須塩原の交流の歴史を振り返る上で、運命の始まりともいえる重要な場所。明治時代、ドイツ公使や外務大臣などを務めた青木周蔵氏は、市内に青木農場を開いた後この別邸を建設しました。それから時を経て、平成16年に、リンツ市在住のニクラス・サルム伯爵(周蔵氏の子孫)が市内を来訪したことをきっかけに、中学生の海外交流が始まりました。こうした相互間の交流を通して、文化や生活様式の違い

とリンツの間には、数多くの類似点があります。その一つは、ともに強い産業基盤を有していること。この姉妹都市提携は、経済協力と都市開発にまつわる相互交流に取り組むためのいい土台を提供してくれることでしょう。私は将来的に、学校から市民全体に交流の幅を広げたいと思っています。それは、グローバル化が進む世界で互いに理解・協力し合うためには、人同士の文化的・歴史的・技術的な交流が必要だと考えるからです。互いの文化の特異性を学ぶことにも大きな意味があります。数千年前の哲学者アリストテレスは「人は、生きるために都市に集まり、そして、幸せな人生を送るためにそこに居続ける」と言いました。この言葉のとおり、市民が幸せな人生を送れるよう努力することが、今回の調印の目的の一つ。これから両都市が関係を深め、相互協力することで共に繁栄していくことと確信しています。

#### 中学生海外交流事業って何?

毎年、中学生を互いの都市に派遣し、交流を深める事業。平成17年からリンツ市への派遣が始まり、21年からはリンツからの生徒を受け入れている。

- 5月 リンツ→那須塩原(受入)
- 10月 那須塩原→リンツ(派遣)



平成27年度からは産業の交流も始まっている

を肌で感じながら互いに理解を深め、そして自分の国についても見直す貴重な機会となっています。今回の姉妹都市提携を新たな出発点とし、これまでの交流によって築かれた信頼関係のもと、さまざまな分野での交流を一歩ずつ進めていきたいと思っています。



# 文化都市

Cultural city  
リンツ



リンツ市内の街並み。青く光る建物は、現代美術展示で有名な Lentos 美術館

**アルスエレクトロニカ・センター**  
世界的なメディアアートの祭典の活動拠点で、美術館・博物館としての機能を持つメディアセンター。デジタルアートやデジタル技術を日常生活に結びつけた体験型の空間になっている。



**リンツアートルテ**  
リンツ発祥の焼き菓子で、レシピが現存する世界最古のケーキとされる。(1653年)



**古典派の神童・モーツァルト (1756-1791年)の旧宅が残る**  
ハイデン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠の1人と呼ばれる。モーツァルトが作曲した「交響曲第36番」は通称「リンツ」と呼ばれる。



**ペストリンクベルク**  
リンツ郊外にある標高539mの山で、ランドマークのひとつ。印象的な巡礼教会が山頂にそびえる。

**ハウプトプラッツ広場**  
バロック建築の建物に囲まれ、欧州一の規模を誇る中央広場。中央には、18世紀にリンツが見舞われた3つの災難(ペスト、大火、トルコ軍の侵攻)の終息を記念して建てられた「三位一体記念柱」が建っている。



人口：約20万人(2016年1月現在)  
面積：96.048km<sup>2</sup> 公用語：ドイツ語  
姉妹都市：リンシェーピング(スウェーデン)、リンツ・アム・ライン(ドイツ)、チェスキー・ブジェヨヴィツェ(チェコ)、成都(中国)、ガベス(チュニジア)、カンザスシティ(アメリカ)、光陽市(韓国)、モデナ(イタリア)、タンペレ(フィンランド) ほか

本市と姉妹都市になったリンツは、欧州文化都市\*に選定されるほど芸術文化が根付くまち。世界の有名都市とも姉妹都市を結ぶリンツ。その街並みには、至るところにアートがちりばめられ、伝統や歴史だけでなく近代都市の様相を醸し出す。リンツは一体どういうまちなのか、少しだけのぞいてみよう。

## “異”を認め、受け入れることが最も大切では――

**Profile**  
リンツ在住のピアニスト。国立音楽大学ピアノ科卒業後、ドイツの音楽大学で研鑽を積み、2002年まで教鞭をとったほか、演奏家としても活動を行う。今回の調印式にあわせて来日。レオニード・クロイツァー賞受賞。

Maki Namekawa



滑川 真希氏

リンツは、一言でいうと「ほっこり」という印象でもとても安心感があり、落ち着くまちです。まちの芸術文化の象徴ともいえるアルスエレクトロニカ・センターを拠点に、世界中から多くのクリエイターやアーティストが集まります。そういった意味でも、リンツは芸術や文化の育成に力を注いできたと言えると思います。

そういった文化と人との距離を縮めたくて、日々活動しています。リンツがウィーンとは異なる都会ではないように、那須塩原も東京とは異なり都会ではない。そのような環境で生まれる地域に特有の文化があり、それを大切にしなければなりません。東京では出来ないことが、ここ那須塩原では出来る。決して大きなことをする必要はなく、小さなことをコツコツ積み上げることが大切です。

これからは、異なる文化の人たちと関わらずに生活することはありえません。どのように受け入れていくか、それには異なる文化を理解し、自ら体験していくことが最も大事だと思っています。



欧州のオーストリア共和国・オーバーエスターライヒ州の州都で、ドナウ川沿いに位置する商工業都市。リンツ。ウィーン、グラーツに次ぐ国内第3の都市であり、気候は湿度の低い大陸性気候で日本の北海道に似ている。教会などの歴史的建造物が多く、中世の街並みを残す美しさが観光客にも人気だ。芸術・文化の盛んな都市としても知られ、平成21年度には

オーストリアでは2番目の欧州文化都市に選定された。リンツは4つの大陸に19の姉妹都市を持ち、それぞれ交流の絆を深めてきた。積極的な交流の裏には、共同プロジェクトを展開している場合もある。その具体的な中身は、自然環境保全や医療・技術開発。関心が高いこれらのプロジェクトは、互いの都市の人々のつながりを強め、各分野の発展に利益をもたらしている。

# Linz

\*欧州連合が指定した加盟国の都市で、1年間にわたり集中的に各種の文化行事を展開する事業。



# 激動の明治時代を外交で支えた子爵



周蔵公(右)と娘・ハナ

## 青木 周蔵 (1844-1914)

幕末の長州(山口県)に生まれた明治時代の外交官。外務次官、外務大臣などを歴任し、不平等な立場から始まった日本の国際社会における地位向上のため、外交政策の中核人物として奔走した。1868年、初の日本人留学生としてドイツに留学し、軍事・経済・法律・西洋医学といったさまざまな分野を学んだ後、日本の外務大臣やドイツ、アメリカの大使を務めた。青木農場を開き、青木邸、青木小学校を作った人物でもある。

周蔵公が起草した帝号大日本国政典の草案。大日本帝国憲法制定前に、さまざまな私擬憲法が起草された。



# きっかけの邸宅

A mansion of an opportunity

敷地の一角「ハンナガーデン」には、四季折々の花が咲き誇る。8月の夏場は、一面ヒマワリの黄色で染まる。ハンナは周蔵公と妻・エリサベートの間に生まれた長女・ハナの名前に由来する。



寝室として使われていた2階の一室。青木邸では最も古い部分で、当時は黒塗りの鉄製ベッドが置かれていた。



2階ベランダからの景色。右側は杉並木で、左奥の土壌はハンナガーデン。かつて周蔵公も眺めていた景色だろうか。



ドイツ様式の構法が採用された屋根裏部屋(非公開)。当時は青木家の歴史を物語る品物で埋め尽くされていたという。



姉妹都市調印の懸け橋となった中学生海外交流。その始まりのきっかけは、リンツに住む青木周蔵公の子孫が市内を訪れたこと。調印式の会場となった青木邸の歴史を感じ、周蔵公の人物像をひも解く――



周蔵公が生活していた当時の青木邸。表紙の写真と同じアングルだが、杉並木の樹高がまだ低く、時間の経過を感じさせる。正面口に1人の女性の姿が見える。

### 青木邸で夕涼みコンサート

毎年恒例の青木邸でのコンサート。琴とフルートが織りなす和と洋のハーモニーに耳を傾けながら、青木邸を眺めてみましょう。  
▶とき 8月6日(土)午後4時～  
▶出演 箏曲萩の会  
▶問い合わせ 函生涯学習課 ☎0287(37)5419

的存在と言われる。  
見て感じる周蔵公の人生観  
青木周蔵は、外交官としてドイツを中心に長くヨーロッパに滞在した。35年にわたる外交官生活の中で、さまざまな欧米の建築や書物にふれ、洋風建築についての相当な知識を有していたと考えられている。そのこだわりが邸内の各所に色濃く残るほど、中は文化的で気品あふれる造りになっている。  
周蔵公たちが生活する姿を想像しながら眺める青木邸には、当時の息遣いが聞こえてくるほどの静寂感が漂う。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



# 芽生える 思い

出会い

しい驚きと真剣に向き合う子ども同士の交流。そこには、多くの出会いと別れや芽生えた夢を追う純粋な子どもたちの未来がある――

12年目を迎える中学生の海外交流事業。異国の地で経験する全てが新鮮。異なる文化に触れることで、自らを俯瞰できる。また1つ、新



異国体験



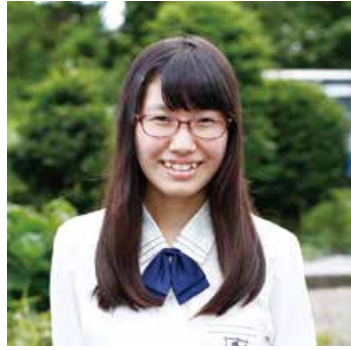
キ ヤビンアテンダント、それが石川真希さんの

夢。元々、文化や慣習が異なる外国人と接するのが好きな彼女は、平成25年度に海外派遣でリンツに行った。「流暢に英語が話せるわけではないので、最初は仲良くできない、最初は不安でした。でも5日間という短い間でも絆はできるものですね。パートナーのママに「あなたは私の大切な娘の1人」と言われて、別れるときは涙が止まりませんでした」と話しながら、思い出の品を見せてくれた。「パートナーが送ってくれた洋服です。外国の人は記念日をとてても大事にしている、誕生日やクリスマスなどにプレゼントを送り合います。今

頃元気にしてるかな」と続ける。

現在高校2年生の彼女は、海外交流の楽しさを再び体験したいと、1年のときにアメリカへのホームステイに参加した。「外国の方はストレートに考えや思いを言い合います。日本では言わなくても察する文化がありますが、生活していて言葉にしないと伝わらないことって結構ありますよね。誤解を生む場面もあるので、時には言葉にする勇氣も必要なんだと感じました」と話す。夢実現のため、勉学に励む石川さん。空を眺めながら将来の夢を話す彼女の横顔に、力強さを感じた。

石川 真希 さん  
(平成25年度海外派遣研修参加者)



さようなら  
決して  
忘れないよ

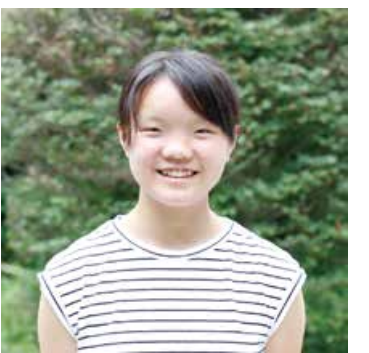


これまでいくつの出会いと別れがあっただろう。いくつの驚きと発見があっただろう。「異」を知り、互いを認めてこそ成長し合える。あのとき生まれた絆が、まちの明るい未来につながっていく――

別れ

## 必要だと思うから学びたい そのためにカナダへ

白石 萌絵 さん  
(平成26年度海外派遣研修参加者)



パートナーにプレゼントしてもらった写真立てと思い出の1枚

「文化的な街並みの美しさが想像以上でした」。一昨年に参加した海外派遣研修で、リンツでの思い出を振り返る白石萌絵さん。「少し苦手な食事もあったけど、それもまた新鮮。なによりホストファミリーの温かさ

しかけることに後ろ向きだったけど、語学を学ぶにつれてその抵抗がなくなりました。実際に他国に行つて、文化や人に触れるのも必要な経験だと思います」と、リンツのパートナーとの写真を眺める。「バイト先の飲食店にも日本語が話せない外国人客がよく来るので、英語が話せるとうれい」と付け加えた。外国人と接する機会は今後ますます増えるだろう。彼女は8月から3年間、カナダに留学する。「きっかけは父の勧め。でもこれからは語学が必要時代だと思うので、自分の将来のために英語を学びたい。宇宙関係の仕事に興味があるので、きっと役に立つ」と話してくれた。

Moe Shiraishi



01

第33回西那須野ふれあいまつり イベントスケジュール



▼とき 7月30日(土) 午後3時～9時  
 ※交通規制は午後2時30分～9時30分  
 「雨天予備日」7月31日(日) 同時開催

▼ところ J.R西那須野駅西口駅前周辺  
 ※主なイベント、時間、場所は予定です。  
 詳しくは、当日配布のプログラムで確認してください。

▼問い合わせ  
 ○西那須野ふれあいまつり実行委員会  
 (国産業観光建設課)  
 ☎0287(37)5107

02

はじめてのふるさとごはん 子育て応援米の申し込みがスタート



このお米を食べて元気に育ってほしい。市の宝である子どもたちの成長を願って、4月1日以降の1歳6カ月健診対象者がいる世帯に、有機肥料・減農薬で栽培した那須塩原産コシヒカリ20kgを届けます。対象世帯には、1歳6カ月健診の案内に配送申込書を同封して送付します。4～6月の健診対象者には、通知を7月下旬に発送しますので、忘れずに提出してください。

▼問い合わせ  
 ○本農務畜産課 ☎0287(62)7147

03

スキージュニア国際大会で優勝 市長特別賞を贈呈



カナダで行われるスキーの世界大会「ウィスラーカップ」で優勝した君島王羅さん(塩原中2年)に5月26日、市長特別賞を贈呈しました。君島さんは、3歳からスキーを始め、今回世界大会で初優勝。贈呈式では、終始緊張した面持ちの君島さん。式終了後、「世界大会の表彰台より緊張した」と照れながら語ってくれました。君島さんのますますの活躍に期待です!

▼問い合わせ  
 ○本秘書課 ☎0287(62)7108

主なイベント	時間(全て午後)	場所(※)
式典	3時～3時20分	メインステージ
つきの木もちつき唄	3時30分～6時	駅前
小学校鼓笛隊 遅沢ばやし山車	3時20分～3時50分	公園・駅前・桜・要町
小学校プラスバンド	3時30分～4時15分	メインステージ
那須野ヶ原疏水太鼓	3時30分～4時30分	サブステージ
疏水レース	3時30分～6時30分	公園
保育園花笠おどり	4時15分～4時30分	駅前
よさこいソーラン ジャズダンス	4時30分～4時45分	公園
三島おはやし 那須苗取り田植唄	4時45分～5時15分	メインステージ
ヒップホップダンス	5時30分～6時30分	サブステージ
仮装大会	5時30分～7時	メインステージ
みこし	6時～9時	公園・駅前・桜・要町
格闘技デモンストラーション	7時～9時	サブステージ
流し踊り	7時30分～8時30分	公園・駅前
グルメまつり	3時～9時	AQUAS前駐車場
要町通りイベント	3時～9時	要町
自主イベント	3時～9時	会場内各地

※場所の略…公園：西那須野駅前公園通り 要町：要町通り  
 駅前：西那須野駅前通り 桜：桜通り

04

那須塩原市観光 サマーキャンペーンが始まります



8月31日まで、サンリオのハローキティとタイアップして、板室温泉と塩原温泉で夏のファミリープラン・女子旅プランを実施しています。夏の旅行を計画するファミリーや女性をターゲットに誘客促進を図ります。今年の夏、市内の温泉地に宿泊してはいかがでしょう。

ハローキティ オリジナル特典  
 期間中に対象宿泊施設の「ハローキティプラン」で宿泊すると、那須塩原市限定のフェイスタオルや風呂敷をプレゼント。(プランにより、特典は異なります)

ハローキティとて馬車登場  
 塩原温泉名物のとて馬車がハローキティバージョンになります。この期間にとて馬車に乗ると、記念乗車券やとて焼きなどの割引券がプレゼントされます。

ハローキティとて馬車パレード  
 ハローキティが那須塩原市に遊びに来ます。この貴重な機会にぜひ会いにいこう。

▼とき  
 ○7月30日(土) 午前11時 千本松牧場  
 午後3時 塩原もの語り館  
 ○7月31日(日) 午前10時 塩原もの語り館  
 午後2時 千本松牧場

▼問い合わせ  
 ○市観光局  
 ☎0287(46)5326

05

増えて困ってます 特定外来生物の駆除に協力を



オオカワヂシャ オオハンゴンソウ オオキンケイギク

市内で多く見られる特定外来生物(植物) これらの植物は繁殖力が非常に強いため、在来の植物が減少するなど、地域の生態系に悪影響を及ぼします。

○オオキンケイギク  
 ▼開花時期 5～7月頃  
 ▼特徴 高さ0.3～0.7m。黄色い目立つ花を咲かせ、葉の形が細長い丸みを帯びている。多年草。

○オオハンゴンソウ  
 ▼開花時期 7～10月頃。  
 ▼特徴 高さ0.5～3m。鮮やかな黄色い花を咲かせ、花弁は10～14枚で細長く、やや垂れ下がっている。多年草。

○オオカワヂシャ  
 ▼開花時期 4～9月頃。  
 ▼特徴 高さ0.3～1m。河川の岸辺や湿地などに生育し、淡青紫色の花を多数つける。多年草。

▶特定外来生物とは  
 外来生物のうち、日本の生態系などに被害を及ぼすおそれのある生物で「外来生物法」に基づき、環境省が指定しています。特定外来生物に指定されると栽培、保管、運搬、販売などが禁止されます。

敷地内で見たら駆除し、拡大防止に協力を  
 根本から引き抜き、市の可燃ごみ袋に入れ、種や根が飛散しないよう口元を結び、ごみステーションに出してください。

▼問い合わせ  
 ○本環境管理課 ☎0287(62)7193





## ローソクの灯りでスローな夜を ～黒磯駅前キャンドルナイト～

今回で18回目を数え、黒磯駅前の恒例行事となったキャンドルナイトが6月11日に行われました。黒磯駅が開業して130周年となる今年は、「鉄道」をテーマにさまざまなオブジェが飾られました。

明治19年の駅開業を機に大きく発展した黒磯駅前。時代が移り、次第が変わっていくまちなか。5,000を超えるキャンドルが並べられた会場には、その温かい灯りに照らされた多くの子どもたちの笑顔が、今も変わらずにありました。



## 消しましょう その火その時 その場所で ～消火競技会～

那珂川河畔運動公園で消火競技会が6月8日に開催され、男女の部あわせて38の企業や団体などが初期消火の技術を競い合いました。

容器に満たされたガソリンと灯油の混合油に着火されると瞬く間に大きな炎に。この日は風が強かったためか、消火器を一本を使い切ってもなかなか鎮火に至らないケースが続出しました。

一度燃え広がってしまうと簡単には鎮火しません。初期消火の重要性をあらためて感じました。

# ホネ博2016



那須野が原博物館では、5月28日から「ホネ博2016」が開催されています。クジラのような大きなものから、ハツカデバネズミのような小さなものまでさまざまなホネが展示されています。子どもはもちろん大人も楽しめる展示です！ぜひ足を運んでみてください。



## 5/28 クジラ全身骨格組み立て

ホネ博最初のワークショップでは、子どもたちが体長5mものオウギハクジラの全身骨格の組み立てに挑戦。硬いが壊れやすい本物の骨の扱いにビクビクしていた子どもたちも、組み立てが進むにつれて真剣な表情に。完成を迎えた瞬間、会場からは自然と拍手と歓声が上がりました。

## 6/12 探検！ほねほね動物園

ほねほね動物園と称す学芸員による展示解説が行われました。大人も含め約30人がその解説に耳を傾ける盛況ぶり。「ナマケモノは首の骨が9個あるんだよ」と新しいことを学んだ子どもたちは、とても満足そうな笑顔を浮かべていました。



## 早く！急がないと負けちゃうよ ～ふれあいスポーツ大会～

6月23日、ふれあいスポーツ大会が関谷南公園で開催され、塩原地区の園児と市老人クラブ連合会のメンバーら総勢270人が参加。紅白に分かれて風船割りリレーなど全10種目を競い合いました。

必死に応援する子どもたちの「頑張れ」コール。期待に応えようと全力で走るおじいちゃん。「転ばないで」と心配する会場アナウンス。それらが混ざり合った会場は、梅雨の雨を吹き飛ばすくらいの活気と笑いに満ちていました。



## トップリーグの技術に学ぶ ～東レ女子アローズバレーボール教室～

三島体育センターで6月11日、井口の東レBSFがVプレミアリーグで活躍する峯村沙紀主将ら3選手を招き、教室を開催しました。当日は、市婦人バレーボール連盟所属10チームのメンバー約50人が参加。

サーブ、トス、レシーブといった基礎練習のほか、3選手を相手に練習試合も行われ、参加者が選手の強烈なスパイクを見事にレシーブする場面も。練習後のQ&Aでは、技術やメンタル面に関してなど、うまくなるために前向きな質問が相次ぎました。



## 有名な文豪になりきって ～塩原温泉文学まつり～

明治から昭和にかけて多くの文人が訪れた塩原温泉郷。温泉街には彼らに関する文学碑が多く残されています。文学ガイドボランティアを行っている塩原文学研究会のメンバーが中心になり、6月9日～11日の3日間、塩原温泉文学まつりが開催されました。関係者が夏目漱石や与謝野晶子などに仮装し、彼らに関するクイズを出したり、尾崎紅葉の「金色夜叉」の寸劇などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



## 八郎ヶ原放牧場で入牧始まる

塩原地区の新湯温泉近くに広がる八郎ヶ原放牧場。今年も市内で飼育されている乳用牛の入牧が始まりました。

今年約80頭が入牧される予定で、初日の5月18日には、約30頭が牧草地に到着。牛たちは体重測定など所定の検査を受けた後、約50ヘクタールの広々とした牧草地に駆け出して行きました。牛たちは周囲の木々が色づく10月末頃まで放牧場で過ごし、飼い主の元に戻っていきます。



「自分づくり」への挑戦！  
～マイチャレンジ活動～



市内の中学2年生が、社会体験活動にチャレンジ。地域の人々に支えられながら行うこの活動は、生徒たちがあいさつや礼儀など社会の一員として必要なことを学ぶ大切な機会です。また、自分自身を見つめ直す貴重な時間となったことでしょう。

永田保育園で活動した西那須野中の岩本 岳<sup>がく</sup>さんは「園児と関係を築く上で、平等に接することが大切だと感じました。子どもへの接し方だけでなく、職場とのアポイントの取り方など社会で必要なことも経験することができました」と体験を振り返りました。



自分も大切 相手も大切  
～人権の花運動～

市では関係機関の協力のもと、人権啓発の一環として人権の花運動を市内小学校4校で順次実施しています。花を植え、世話をすることによって命の大切さを感じ、人権尊重の精神を育むことが目的。

6月8日に実施した大貫小学校では、事前に開かれた人権集会で自分の幸せも相手の幸せも大切であることを学びました。当日は6年生の臼井 健吾くんが「人権の花をたくさん満開にして、みんなが笑顔になれたらいいなと思います」と児童を代表して話し、児童1人1人が丁寧に花を植えました。

西那須野中 長浜 瑠南<sup>るな</sup>さん  
ねむの樹での職場体験で、仕事はお客様に対する気遣いや、感謝の気持ちを持ち続けることが必要だと学びました。お菓子作りや接客に取り組むなかで、働くことの大切さを感じました。



西那須野中 石下 大夢<sup>ひろむ</sup>さん  
人命救助という仕事の大切さや大変さを実感した5日間でした。消防署では、人の命の重さを常に考え、1人でも多くの人を救うために、万全の準備や努力をしているのだと知りました。

箒根中 佐藤 麻基<sup>あさき</sup>さん  
接客の仕事では、笑顔でのあいさつや相手の目を見て話すことが重要だと感じました。また、仕事とは自分ではなくお客様のことを考えてすることが大切だと学びました。



私の手 大きくなったよ！  
～卒園記念手形づくり～

6月3日、市内で陶芸を楽しむ陶友クラブの協力のもと、わかば保育園で来年3月に卒業する園児の手形づくりが行われました。これは今回が初めての試み。陶友クラブ桐生さんは「子どもにとっても思い出になるし、私たちにとっても孫のような子たちと関われるいい機会。無償で行っているのも、もっと多くの園で実施できたら嬉しい」と話しました。子どもたちも「手形を押すのはすごく楽しかった。手が大きくなった」ととびきりの笑顔。自分の成長を実感する瞬間になったようです。

子育てに悩んだら行ってみよう！(8月)

育児相談

育児の不安、1人で悩まないで。お話しにきませんか。

保健師や栄養士などによる相談を行っています。お気軽にお越しください。

とき	ところ
4日(休) 午前9時30分～11時	黒磯保健センター
18日(休) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

※西那須野保健センターは事前の申し込みが必要です。

母親学級

お母さんになるための準備、みんなで一緒にしましょう！

妊婦さん同士の話し合いや体験学習をします。ママ友づくりの場にもなっていますよ！

とき	ところ
2日(火) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

テーマは、「赤ちゃんのために妊娠中からできること」家族の人(お父さんになる人)も、ぜひ一緒に参加してください。※予約制になりますので事前にお申し込みください。

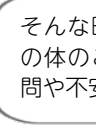
予約問い合わせは  
○黒磯保健センター  
☎0287(6)1100  
○西那須野保健センター  
☎0287(3)1356



おいでよ！ 母親学級



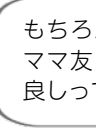
赤ちゃんができてすごく嬉しいけど、何も分からなくて不安だな。



そんな時はぜひ母親学級へ♪ 妊娠中の体のこと、産後の育児についての疑問や不安に専門家がお答えしています。



初めての妊娠でいろいろ心配してたから嬉しい！ でも1人で行って大丈夫？



もちろん大丈夫！ 母親学級でできたママ友と、子どもが生まれてからも仲良しって人たくさんいるんですよ～



気になるテーマはこちらの3種類。9月以降の開催予定はQRコードからチェック☆事前の予約をお願いします。

第1課  
「ママと赤ちゃんの健康づくり」  
・妊娠中からの健康づくり  
・妊娠中から気をつけたい、健康的な食生活とは？

第2課  
「赤ちゃんのために妊娠中からできること」  
・生まれてくる赤ちゃんについて  
・ママと赤ちゃんの健康な歯を育てよう

第3課  
「産後のイメージづくりとみんなでトーク」  
・産後のママのこころとからだ  
・産後の生活をイメージしよう(親学習)

※全課で、育児体験やパパの妊婦体験、個別の健康相談を行っています。  
※パパやご家族の参加もお待ちしています！



育児ママヘインタビュー！



インタビューに協力してくれた  
佳織<sup>なほり</sup>さん  
悠希<sup>ゆうき</sup>くん(1歳)

妊娠中、母親学級に2回参加したという、佳織さんに話を伺いました。

Q 母親学級に行こうと思ったのはなぜ？  
A 初めての妊娠で、何がわからないのかもわからないという状態だったので、専門の先生の話を聞いてみようと思ったからです。

Q 母親学級ではどんな活動をした？  
A 先生の話の聞いたり、グループで不安や悩みを話し合ったり、おむつ交換や子どもの抱き方など、子育ての学習もしました。活動のなかでママ友もできましたよ。

Q 母親学級に行ったらプラスになったことは？  
A 勉強になることがたくさんあって、漠然とした不安が解消されたことです。それにパパも一緒に参加したおかげで、生まれた後もよく手助けをしてくれています。初めて参加する時は私も不安だったけど、雰囲気もすごくいいし、オススメです！

妊娠に不安はつきものだと思います。1人で悩むよりも1歩外に出て、楽しく学びながら過ごしてみたいかがでしょう。

※インタビューコーナーに出てくれる、子育てに奮闘中のママ(パパ)さんを募集中♪

お問い合わせ  
○本ティブロモーション課  
☎0287(6)7109







## 調べる学習コンクール

▶ 問い合わせ 図書館教育課 ☎(37)5349

### 図書館を使った調べる学習コンクールとは？

子どもたちが主体的に学ぶ意欲を育み、「情報を活用する力」を身に付けることを目的としたコンクールです。図書館の蔵書や調べる機能などを活用し、体験や創作と結び付いた研究内容についてまとめた作品を、「的確な資料・情報収集ができていないか」「情報の整理や表現方法が工夫されているか」などの観点により審査します。

今年度も実施します！  
たくさんの応募をお待ちしています♪  
応募方法は、各小・中学校か  
図書館教育課まで問い合わせ  
てください。



挑戦してみたいなあ！  
でも、どうやって調べたらいいんだろう。

私たち図書館スタッフにお任せください！  
図書館での資料の紹介や検索の仕方などをアドバイスさせていただきます。



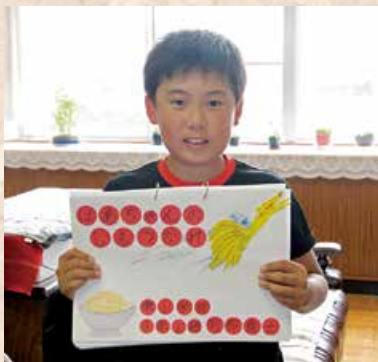
### 過去の入賞作品が各図書館で展示されます！



作品作りのヒントがたくさんあるはず♪

- ▶ とき 7月9日(土)～8月31日(水)
- ▶ ところ 西那須野図書館・黒磯図書館・塩原図書館
- ▶ その他 各図書館に置いてある作品はそれぞれ異なります。詳しくは各図書館へお問い合わせください

### ポイントは好奇心と探究心！上位入賞者にインタビュー！



東小学校 5年生  
阿部 真士 くん

昨年度の調べる学習コンクールにおいて市内で優秀賞、全国でも優良賞に輝いた、東小学校5年生の阿部 真士 くんに話を聞きました。

- Q. 昨年度はなぜ「ばあちゃんのしもつかれ」をテーマにしたの？  
A. ばあちゃんが作った料理を見て、「これは何なんだ!？」と思ったのがきっかけです。それで調べてみたいと思いテーマに決めました。
- Q. 調べるときのコツは？  
A. 何冊も本を読んでいると新発見がたくさんあって、それに対してもっと調べていくと内容が深まっていく。これを繰り返しています。

作成するのがとても楽しくどんどん進むという阿部くん。昨年度の参考文献はなんと16冊。家族でもよく作品について話をするとのこと。「今年度も全国での上位入賞を目指して頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。

## 図書館 HP



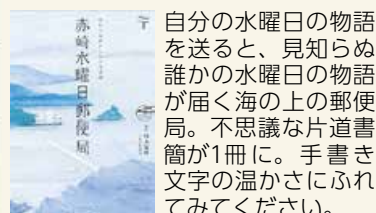
## NEW!

# 図書館へ行こう!

私が見たい世界は、この本にありました



『赤崎水曜日郵便局』  
著：楠本 智郎 KADOKAWA



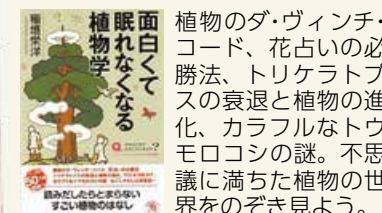
ほっこりした気持ちになれる1冊

『ジャッカ・ドフニ 海の記憶の物語』  
著：津島 佑子 集英社



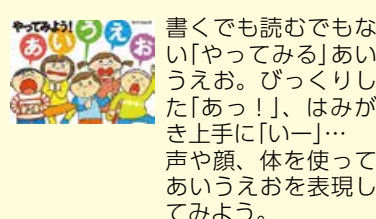
著者の遺作でもある渾身の叙事小説

『面白くて眠れなくなる植物学』  
著：稲垣 栄洋 PHP研究所



読みだしたら止まらない話が満載

『やってみよう! あいうえお』  
作：スギヤマ カナコ くもん出版



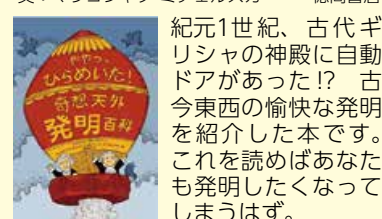
親子で一緒に遊べる絵本

『てんじつきさわるえほん ぐりとぐら』  
作：中川 李枝子 絵：大村 百合子 福音館書店



指先でも絵本を感じてみよう

『やっつ、ひらめいた! 奇想天外発明百科』  
文：マウゴジャタ ミCHEルスカ 徳間書店



中・高校生に読んでほしい

## イベント情報

### 西那須野図書館 【子どものつどい】

- ▶ 内容・とき(全て8月開催)
- ①化石の発掘体験 6日(土)・7日(日) 午前10時～午後2時
  - ②バルーンアート 6日(土) 午前9時30分～11時30分
  - ③おはなし会 6日(土) 午後2時～2時30分
  - ④動物の入れ物を作るう 7日(日) 午前9時30分～正午
  - ⑤紙しばい会 7日(日) 午後2時～2時30分
- ▶ 対象 幼児～小学生  
※①は幼稚園年長以上(園児は保護者同伴が必要)。
- ▶ 参加費 ①のみ500円 他は無料
- ▶ 定員 ①は両日とも60人  
②③⑤各20人程度 ④100人程度
- ▶ 申込期間 7月16日(土)～20日(水)  
※①のみ申し込みが必要。定員になり次第締め切り。

### 黒磯図書館 【夏休み工作教室】

- ▶ 内容  
①宇宙ロケット、ド～ン!  
②牛乳パックでペン立て、  
花びんを作ろう!
- ▶ とき ①7月30日(土) 午前10時～正午  
②8月8日(月) 午前10時～正午
- ▶ 対象  
①市内の小学1～3年生  
②市内の小学1～4年生
- ▶ 参加費 ①②ともに100円
- ▶ 定員 ①②ともに12人
- ▶ 申込開始日  
7月21日(木)午前9時30分～  
※定員になり次第締め切り。

### 塩原図書館 【夏休み工作会】

- ▶ 内容  
アイスの棒でペン立て作り
- ▶ とき 8月4日(木) 午後1時30分～3時30分
- ▶ 対象 幼児～小学生
- ▶ 参加費 200円
- ▶ 定員 20人
- ▶ 申込開始日  
7月20日(水)午前9時30分～  
※定員になり次第締め切り。

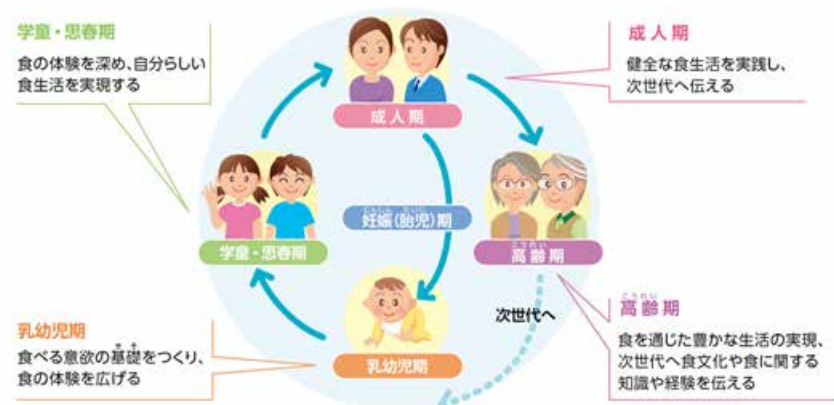
▶ 申し込み・問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521



# 健康は日々の正しい食生活から

～各世代に合った食育を～

食は命の源。生きる上で基本の「食育」に、子どもから高齢者まで生涯を通じて取り組むことが重要です。とりわけ若い世代は、他の世代と比べて朝食を食べない人が多く、野菜不足による栄養バランスの偏りなど食習慣が乱れがちです。30歳の人のこれまでの食事回数はおよそ3万3千回。身体は毎日の食事の積み重ねで出来ているため、生活習慣病になる前に、若いうちから食に意識を向けていく必要があります。更に20・30歳代は親になる世代。健康的な食生活を子どもたちに伝え、つなげることも求められます。



それぞれのライフステージで大切にしたい食育の取組(出典:内閣府「食育ガイド」)

## 健康的な未来に向けて

### 4つのアクション！

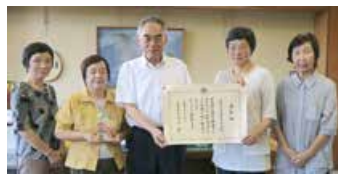
- ① 朝・昼・夕の1日3回の食事をとる
- ② 毎日漬物以外の野菜をプラス1皿
- ③ 1日2回以上、主食・主菜・副菜を合わせた食事
- ④ 1日1グラムの減塩

## 健康的な地域づくりに向けて 食育を広めるため活動

正しい食育の浸透には、行政による取り組みだけでなくボランティアの役割が重要です。那須塩原市食生活改善推進員協議会は、夏休み子ども食育教室の開催など、日々食育の推進に取り組んでいます。



## 市食生活改善推進協議会が 農林水産省から表彰



この度、若い世代に向けた活動の成果が評価され、市食生活改善推進協議会が、農林水産省による平成28年度「食育推進ボランティア表彰」を受賞しました。

## 食と健康を学び地域へ 食生活改善推進員養成講座

食と健康の基礎知識を学び、地域で食の大切さを伝える推進員の養成講座です。家族や地域の健康を考え、一緒に活動してみませんか。

- ▼ とき 7月29日(金)、8月9日(火)・31日(水)、9月14日(水)・30日(金)(全5回) 午前9時30分～午後2時30分
- ▼ ところ 健康長寿センター
- ▼ 参加費 各回200円
- ▼ 定員 20人
- ▼ 申込期限 7月22日(金)
- ▼ 申し込み・問い合わせ 0287(63)1100
- 健康増進課

参加無料

## 身体を動かして生活習慣病を予防しよう ～健康セミナー運動編～

「運動なんてしたことない」「運動を始めたいけど、何からしたらよいか分からない」「体重を減らしたい!」と思っている皆さん。この機会に参加して、正しい運動を体験してみませんか?



講座	とき(所要:約2時間)	ところ	申込期限
無理なくできる筋トレ講座	7月19日(火) 午後1時	くろいそ運動場体育館	7月12日(火)
	7月26日(火) 午前9時30分	西那須野保健センター	7月19日(火)
健康ストレッチ講座	7月29日(金) 午後1時	くろいそ運動場体育館	7月22日(金)
	9月7日(水) 午前9時30分	にしなすの運動公園体育館	8月31日(水)
ウォーキング講座	9月20日(火) 午後1時	にしなすの運動公園体育館	9月13日(火)
	9月26日(月) 午後1時	くろいそ運動場体育館	9月20日(火)

- ▶ 対象 20歳から64歳の市民
- ▶ 定員 各25人
- ▶ 持ち物 フェイスタオル・飲み物・室内用運動靴
- ▶ 申し込み・問い合わせ 黒磯保健センター ☎0287(63)1100 西那須野保健センター ☎0287(38)1356



# お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。今後の広報誌づくりの参考とさせていただきます。



- ◆ 本市にある珍しい施設として那須塩原電留線(新幹線の夜間留置基地)を取り上げてみてはいかがでしょうか。 K・Iさん(宮町)60代男性
- ◆ 図書館へ行くこのコーナーで、去年の調べる学習コンクール上位入賞者の特集をして欲しいです。夏休みに向け、我が子も上位入賞を目指し取り組ませたいので、調べるコツ等知りたいです。 けーこさん(西大和)30代女性
- ◆ 広報誌は月1回で充分。紙やインク代、配布の手間も考えると税金の無駄だと思えます。インターネットをもっと活用したほうが良いのではないのでしょうか。配布するのあれば地域に応じた内容を変えた「地域版」のような形で分けてくれるとありがたいです。 N・Nさん(三島)30代女性
- ◆ 6月5日発行のお便りBOXにも2件の意見があった通り、月に2回の広報誌は無駄だと思います。月1回の発行にすればいいのではないのでしょうか。無駄の削減が求められる時代、市

## 《応募方法》

広報なすしおばらの感想、取り上げて欲しい話題などを送ってください。



スマートフォンなどからの応募はこちら

## Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

1. 表紙
2. 特集
3. 行政 info
4. タウンピックアップ
5. 子育て連絡帳
6. チャイルドトピックス
7. 健康だより
8. 図書館へ行こう!
9. ボンジュール アリスです
10. なすしおばら珍百景
11. ちっちゃな自然
12. げんきびと

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

## 募集中

# お便りBOX

## 皆さんの声を紙面で紹介します

皆さんからいただいたお便りを紙面で紹介していきます。広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題などを投稿してください。

※応募ははがきかQRコードから。

## なすしおばら 珍百景

### あなたの"珍"がまちの魅力に？

あなたの身の回りの"珍"な光景、出来事、思い出などの写真を募集します。その1枚が新たな魅力の発見につながるかも。

※応募は次ページのQRコードを参照してください。



元気ですよー!  
オオムラサキの越冬幼虫



オオムラサキのかわいい幼虫

オオムラサキって?

日本の国蝶として有名。羽を開くと、75~100mmある大型のチョウ。成虫はクスギやコナラなどの樹液に集まる。カブトムシやクワガタムシなどと一緒に樹液を吸っていることがある。幼虫は、エノキやエゾエノキの葉を食べる。近年、生息環境の悪化が原因で全国的にその数を減らしており、絶滅が心配されている。



成虫になるとこのような姿になります

皆さん、昨年12月20日号の広報なすしおばらに登場したオオムラサキの幼虫を覚えていますか? 幼虫たちが無事に冬を越して、またエノキの上にもその姿を見せてくれることを願って、4月下旬から毎日観察を続けました。

すると、ゴールデンウィーク最後の土曜日の朝、エノキの枝にまだ茶色の体でじっとしている幼虫を発見。

「よし!」と少し大きな声で、塩原の厳しい冬を乗り越った彼らにエールを送りました。例年に比べれば降雪量が少ない冬でしたが、強風が吹いたり、気温が0℃以下になる日もありました。自然の力強さをあらためて教えてもらった日になりました。

そして5月20日、エゾハルゼミの音がシャワーの様に鳴り響く中、エノキをのぞくと、体色をあざやかな緑色に変えた幼虫君が、さかんに葉を食べているところに出会いました。もう少し良く見ようと葉を持ち上げると、「ちよっと、今は食事中です。じゃましないでヨー」とも言いたげに、チョコツと頭を上げた姿がとてもかわいくて、カメラのシャッターを押してしまいました。

でも、チョウに詳しい先生に話を聞くと、彼らにとっては、これからがサナギになり、チョウへと成長する一番大変な時期なんだそうです。無事を願わずにはいられません。がんばれヨ!

あきお

編集後記

「那須塩原電留線を取り上げては?」とお便りを頂き、新幹線の写真を撮るために夜遅くに現場へ。目の前にそびえ立つフェンスと暗闇の中での撮影に悪戦苦闘しました。月明かりの下、高い脚立の上に立ち、望遠のレンズをつけ、有刺鉄線の間から新幹線を狙う先輩。その姿はいわゆる「撮り鉄」か、それともただの不審者か。親切な作業員の方からおすすめの鉄道スポットを案内されたので、ぎりぎり前者と思われたのでしょうか。(平石)

先日、外出先で外国人に道を聞かれました。私も地元の人間ではないので最初はあたふたしていたのですが、スマホを駆使して案内したところ、「サンキュー」のお礼とともに握手。普通、日本人であればお礼に握手までは求めませんよね。今回の特集では、これからの国際社会で生きていくために「広い視野」と「受容する心」を持つ必要性を感じました。常に他から学ぶことを忘れずにいたい。 (小林)

Bonjour!  
アリスです



アリス パッキエ

歴史が動いた紫色の季節

毎年7月、私が育った家の庭はアヤメやラベンダーなどの花が咲き、紫色の海になります。花の香りに包まれたその紫色の風景が忘れられません。日本でも、百合や桔梗などトーンの違い紫色の花が夏の空色に映えています。その花は、私の村咲きの花と似ていて好きです。

私が那須塩原に来て3年が経とうとしています。那須塩原の最初の印象は、今が旬のなすやいちじく、ブルーベリーのような紫色でした。それは、初めて那須塩原に来た時、市役所の周りがある紫色の紫陽花が目に残ったからです。紫は私が一番好きな色でもあり、その懐かし

い色を見て故郷を思い出しました。そんな紫陽花は、フランスで日本のバラと言われています。

フランスの7月は、あじ祭ではなくパリ祭が開催され、これは歴史的大きな意味をもちます。フランス共和国建国のきっかけとなったフランス革命。その革命の発端となったバスターイーユ襲撃が7月14日に起こりました。そのためこの日は、フランス共和国の成立を祝う日に制定されています。各地で一日中花火が打ちあげられます。

実は、「パリ祭」は日本だけの呼び名で、正式には「フランス国民祭」と呼ぶんですよ。

Profile  
本市の国際交流員(CIR)。フランス出身。フランスで大学在学中は日本語、英語と国際関係を専攻。卒業後は、アメリカの大学で教師として勤務。平成25年7月から本市に勤務。趣味は料理、映画鑑賞、旅行、合気道、弓道、ソフトバレーボール。

(※1)国際交流員(CIR)とは…  
JETプログラム(※2)により招致される外国人青年の職種の一つで、地域における国際化の推進に取り組みます。  
(※2)JETプログラムとは…  
国や(一財)自治体国際化協会の協力の下、地方公共団体が実施する「言語指導等を行う外国青年招致事業」のこと。

募集中!  
なすしおばら / 珍百景

新幹線の休憩所(電留基地)



投稿者 K・I さん(60代男性 宮町)  
撮影場所 上厚崎(撮影日 H28.4.8)

応募はこちら

夜になると続々と集まる新幹線。新幹線が大好きな子どもたちや鉄道を愛してる大人たちにとってたまらない光景が、そこにはあります。



3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが  
52円切手を  
貼ってください

那須塩原市役所  
シティプロモーション課  
「広報なすしおばら係」行

ご住所

お名前 (掲載する場合は実名ではなく、イニシャルで掲載します)  
ペンネーム  
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男・女



# なすしおばら げんきびと 元気人

あなたの身近な  
元気を募集中



>>> 那須野ふるさと花火大会 会長

## No.27 秋間 英司 さん

平成16年に一般社団法人黒磯那須青年会議所に入会し、今年第43代理事長へ就任。平成17年の第11回花火大会から運営に関わり、前回大会では実行委員長に就任。認定こども園黒磯幼稚園園長。

### Pick up



今年の開催は、  
8月6日(土) 午後7時~9時  
那珂川河畔運動公園  
今年も、ひととき大きな尺玉を上げる。



「このまちが心から愛せる」「ふるさと」であるために

那須野ふるさと花火大会を詳しく知りたい人は…

那須野ふるさと花火大会

検索



ときには深夜まで及びこともある会議。開催までに解決すべき課題は多いが、全ては感動的な花火を子どもたちに見せるため。メンバーの多くは、この花火を見て育っている。

この地域の夏の夜空を彩る花火。2年に1回行われる那須野ふるさと花火大会の開催に向け活動する「那須野ふるさと花火大会実行委員会」。会長を務める秋間英司さんに話を伺いました。

「大会のスタートを飾る一発目の花火が上がった瞬間。その時の感動は言葉になりません」大会の約1年前から会議を重ね、協賛活動に走り回った日々が成果が、この時初めて形になる。

まちの皆さんからお金を頂き、ボランティアで運営している花火大会。協賛を頂くために、平日昼間に無理を言っ

て会社を休み、活動することもしばしば。開催に向けて何度も何度も夜遅くまで打ち合わせ、8月の猛烈な日差しの中、丸2日間会場を設営する。そのため、最初の花火を見て、思わず泣いてしまうメンバーもいるという。

商工会の青年部や青年会議所を中心に組織する実行委員会。秋間さんが関わり始めたのは今から12年前の2005年。当時は、まだメンバーも多く、運営には若干の余裕があったとのこと。「ここ数年で人数が減り、運営が厳しくなってきました。このままだと立ち行かなくなってしまう」。

危機感を抱き、前回の大会から市民ボランティアスタッフを募集しているが、なかなか人が集まらずに苦労している。会場設営や撤収、ゴミの回収、警備など、大会の運営にはどうしても人手が必要になる。

それでも、この花火大会は多くの子どもが楽しみにしている。「花火を見てこのまちが良いなと感じてくれたらうれしい。高校を卒業したら都会に行ってしまうかもしれないけど、このまちの夏の花火を見て、何かを感じて戻ってきてくれたら嬉しい」。

この大会で代々受け継がれている理念「子どもたちに夢と感動を与えるために」を胸に、今日も準備に奔走する。